

25歳
最年少
所長

多田悠也

の建物管理

管理事務所の所長は、所員のまとめ役として現場を運営し、
鹿島建物の顔として管理サービスの品質をまもる責任者だ。

鹿島建物では、管理施設の特性に応じて最適な人材を所長に任じている。

今号では、中央大学杉並高等学校 管理事務所で活躍し、

“情熱、誠実、パートナーシップ”を体現する

多田悠也所長を紹介する。

多田 悠也

関東支社 多摩出張所

中央大学杉並高等学校管理事務所 所長

略歴

2015年 4月 鹿島建物入社

2015年 4月 秋葉原UDX総合管理事務所

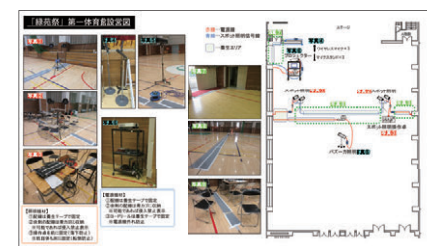
2016年 4月 多摩出張所 非常駐管理

2017年 4月 セコムSCセンター本館管理事務所

2019年 5月 多摩出張所 非常駐管理

2021年10月 中央大学杉並高等学校管理事務所 所長

ひと手間を加えた コミュニケーションで お客様の期待に応えたい



文化祭の設営準備を
写真と図面を使った資料によって説明



多摩出張所 所長が定期的に現場を訪問。
現場内で起きたことを報告・連絡・相談している

鹿島建物は2021年10月から
中央大学杉並高等学校の管理を行っている。
多田悠也所長は、最年少で所長に抜擢された人材だ。
管理事務所の代表として、
どのような意識で業務に取り組んでいるのだろうか。

非常駐管理の経験を活かして柔軟に対応

所長になる前は、常駐現場と非常駐の現場で場数を踏んできました。非常駐管理では一人で複数の建物を担当し、様々なお客様と直接やり取りしながら、契約から設備の定期点検、緊急時の一時対応までをすべて自分で行います。この経験は、管理全体の流れをコントロールしつつ「お客様と現場の橋渡し役」を務める所長業務でも役立っています。

一方で、初めてのことや不慣れなことに直面し、試行錯誤することもあります。提案内容が複雑なときは、オリジナルの図解資料を添えて説明するなど、意図を正しく伝えられるよう自分なりの工夫を重ねています。とてもありがたいことに、お客様からは「資料が見やすく、分かりやすい」と言ってもらい、私の建物管理のキーマンになっています。ひと手間を加えたコミュニケーションでお客様の期待に応え、学校運営に寄り添うパートナーになれるよう努力していきたいです。

社内コミュニケーションが成長の糧に

鹿島建物の先輩方には、私の力不足な点をいつも支えてもらっています。自分一人では判断が難しいと悩んだときには、支社や出張所に相談するだけでなく、親しい先輩方にアドバイスを求めることもあります。

関東支社内で月に一度行われる所長会議では、先輩所長から「最近どう？困っていることない？」とやさしく声をかけていただくことも多いですね。若い私のことを気にかけてくださり、周りの人に恵まれていることに感謝しています。経験豊富な先輩方の意見を聞けたり、日々の仕事について話し合えたりすることは、自身の成長につながる有意義な機会と捉えています。

多摩出張所 所長からのメッセージ



関東支社
多摩出張所
所長 田村 弘司

多田所長はこれまでの仕事でも丁寧な対応がお客様から評価されていて、出張所内では早くから期待されている人材でした。

中央大学杉並高等学校様から施設管理を受託するにあたり行ったプレゼンテーションでも、彼が立派な挨拶と意気込み宣言してくれました。その振る舞いがお客様を「若い青年に託してみよう」という気持ちへと動かし、鹿島建物に委託する決め手につながったと伺いました。

所長としての経験を積み、ゆくゆくは鹿島建物全体を支える存在になってほしいです。

「かけがえのない3年間で、“設備さん”

として最大限にサポートしたい」

学校方針に寄り添った建物管理を

学校施設では、生徒が学びに集中できる環境整備が最優先です。特に、長い時間を過ごす教室内の空調管理には細心の注意を払っています。放課後は図書室や視聴覚室などで自習する生徒もいるため、これらの教室を中心に館内巡回を行い、利用状況に応じた温湿度の調整をしています。生徒の活動のサポートに加え、こまめな調整で学校の省エネにも貢献できるよう努めています。

また、入学式や文化祭など年間行事が多いなか、私たちが最も緊張感をもって対応にあたるのが入試シーズンです。特に入試当日は、努力を重ねた成果をストレスのない環境で十分に発揮してもらいたいと思いました。試験会場は体育館なので、送風機で館内の空気を循環させて足元まで暖める方法を提案し、試験日には大量の送風機を稼働させました。適温に暖められた会場で受験生を応援することができ、お客様にも喜んでいただきました。

生徒の自主性を支える「設備さん」

中央大学杉並高等学校では生徒の自主性を尊重しており、文化祭や体育祭では生徒たちが自ら企画や運営を行っています。文化祭の準備では「設備さん、照明の位置を変えたいんですけど」など管理室に訪れる生徒の、設備や備品の相談にのることもあります。生徒たちには、節度あるふるまいを意識しつつも、世代が近いことを活かした共感力をもって対応することを心がけています。

勉強や部活動、友人と過ごす場所である学校。生徒たちにとって高校生活の3年間がかけがえのない日々となるように、「設備さん」として最大限のサポートをしたいと思っています。

一多田所長にとっての「私の建物管理」とは一

お客様のパートナーになること。
だからこそ、
誠実であることを一番大事にしています。

パートナーシップ

お客様からのメッセージ

多田所長はいつでも相談事を受け止め、一緒に解決策を考えてくれるため、親身なご対応にとっても助かっています。仕事に対する責任感も強く、先生や生徒からも好感をもたれており、管理に対する不満を聞いたことがありません。

この前の入試には雪が降り、受験者の安全を守るために一緒に朝から除雪作業に励みました。良い学校づくりのためにともに考え、互いに高めあっている関係をこれからも続けていきたいです。



中央大学
杉並高等学校
事務室 佐藤 正樹 様



施設紹介

中央大学杉並高等学校

卒業生の9割以上が中央大学に進学する、普通科・男女共学の大学附属校。大学附属校という環境を生かし、大学受験のための勉強ではなく、生涯にわたって必要な力を身に付けるための教育を大事にしている。「だれも失わない学校づくり」をスローガンに防災に注力しており、学校全体の取組みは校外からも高く評価されている。



所在地: 東京都杉並区今川2-7-1
管理開始: 2021年10月
管理内容: 設備管理・清掃・警備・植栽管理業務
管轄: 関東支社 多摩出張所

CHUO UNIV. SUGINAMI HIGH SCHOOL